



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
 コード番号 9305 URL <https://www.yamatane.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河原田 岩夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 田崎 一郎 (TEL) 03-3820-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	18,660	35.2	500	△46.4	604	△43.4	539	△56.3
2024年3月期第1四半期	13,804	10.4	933	5.4	1,067	7.6	1,233	126.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,500百万円(△7.0%) 2024年3月期第1四半期 3,763百万円(191.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	52.74	—
2024年3月期第1四半期	119.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	160,373	59,105	34.0	5,341.28
2024年3月期	155,906	56,051	33.2	5,068.26

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 54,599百万円 2024年3月期 51,809百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期に係る各数値及び比較情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	40.00	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,500	35.6	1,440	△21.4	1,390	△7.2	810	△42.8	78.37
通期	76,500	18.6	3,500	0.5	3,310	4.1	2,640	6.1	256.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期に係る各数値及び比較情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	11,344,181株	2024年3月期	11,344,181株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	1,122,005株	2024年3月期	1,121,808株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	10,222,189株	2024年3月期1Q	10,322,811株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等関係)	9
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループの当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は足踏みも見られるものの緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢、原材料価格やエネルギー価格の高騰、また物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況下で当社グループの経営成績は、物流部門では海外引越の取扱いが前期を上回って推移し、食品部門では昨年10月にM&Aで100%連結子会社となった株式会社シヨクカイ(以下、「シヨクカイ」という。)が業績に寄与したことにより、売上高は186億60百万円(前年同期比35.2%増)となりました。営業利益は、シヨクカイが業績に寄与したものの、物流部門における外注コストの増加、食品部門のコメ卸売販売における急激な原料玄米価格の上昇、人件費やセキュリティ強化対策コストが増加したことに加え、のれん償却額の増加等により5億円(同46.4%減)となりました。経常利益は受取配当金が増加した一方で、支払利息が増加したこと等により6億4百万円(同43.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上はあったものの、前期に計上した遊休不動産売却による固定資産売却益がなくなったこと等から5億39百万円(同56.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<物流部門>

物流部門では、国内業務においては、倉庫事業で4月より既存顧客の新規受託業務を開始し、国際業務においては海外引越を中心として取扱件数は前年同期を上回りました。この結果、売上高は62億99百万円(前年同期比1.8%増)となりました。一方で営業利益は、庸車費用等の外注コストや人件費の増加、また、本年6月に竣工した本牧埠頭新倉庫の不動産取得税等の計上等により、3億86百万円(同37.1%減)となりました。

<食品部門>

食品部門では、コメ卸売販売において昨年の猛暑の影響でコメの生産量が減少した事により需給環境が引き締まりました。その結果、原料調達が進まず、精米販売と玄米販売共に前年同期を下回り、精米販売は16千玄米トン(前年同期比12.4%減)、玄米販売は3千玄米トン(同36.7%減)となり、総販売数量は19千玄米トン(同17.4%減)となりました。一方で昨年10月にM&Aで100%連結子会社となった加工食品卸売業のシヨクカイは事業所給食向けを中心に堅調に推移しました。この結果、売上高は107億93百万円(前年同期比74.4%増)となりました。営業利益は、コメ卸売販売では販売数量減少に加え、原料玄米の急激な価格上昇により顧客への販売価格の転嫁が遅れる状況となりましたが、シヨクカイの加工食品販売が概ね堅調に推移し業績に寄与したことから、1億63百万円(同23.1%増)となりました。

<情報部門>

情報部門では、汎用機基盤の開発、運用業務は堅調に推移し、売上高は4億41百万円(前年同期比9.7%増)となり、営業利益は3百万円の損失(前年同期は9百万円の損失)となりました。なお、情報部門では棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務において、売上・利益とも棚卸の集中する第2・第4四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

<不動産部門>

不動産部門では、高稼働率を維持する中、前期に取得した賃貸物件が寄与し、売上高は11億25百万円(前年同期比10.3%増)となりました。一方で営業利益は、前期に計上した兜町再開発賃貸物件「KABUTO ONE」の不動産取得税の減額分がなくなったことから、4億74百万円(同17.6%減)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産

資産合計は、投資有価証券売却等による現金及び預金の増加や新倉庫建設等の設備投資による固定資産の増加、また時価評価による投資有価証券の増加等から、前連結会計年度末比44億66百万円増加し、1,603億73百万円となりました。

②負債

負債合計は、返済による長期借入金の減少等がありましたが、設備投資の未払金増加等によるその他流動負債の増加、繰延税金負債の増加等によるその他固定負債の増加等から、前連結会計年度末比14億12百万円増加し、1,012億67百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、配当金の支払による利益剰余金の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加等から、前連結会計年度末比30億54百万円増加し、591億5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は34.0%（前連結会計年度末は33.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,348	7,012
受取手形、売掛金及び契約資産	9,146	8,914
棚卸資産	2,331	2,291
その他	4,735	4,754
貸倒引当金	△90	△89
流動資産合計	22,472	22,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,292	31,099
土地	55,513	55,513
その他（純額）	10,530	7,963
有形固定資産合計	94,337	94,577
無形固定資産		
のれん	5,056	4,954
顧客関連資産	7,323	7,236
その他	1,186	1,226
無形固定資産合計	13,566	13,416
投資その他の資産		
投資有価証券	23,408	27,341
その他	2,088	2,132
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	25,442	29,420
固定資産合計	133,346	137,414
繰延資産	87	76
資産合計	155,906	160,373
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,063	4,848
短期借入金	5,800	5,700
1年内返済予定の長期借入金	5,375	5,350
1年内償還予定の社債	1,938	1,938
その他	3,177	4,252
流動負債合計	21,355	22,089
固定負債		
社債	18,409	18,409
長期借入金	39,024	38,477
退職給付に係る負債	1,706	1,677
資産除去債務	2,478	2,483
その他	16,881	18,130
固定負債合計	78,500	79,177
負債合計	99,855	101,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,747	3,747
利益剰余金	25,871	26,001
自己株式	△2,462	△2,462
株主資本合計	37,712	37,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,192	13,802
繰延ヘッジ損益	42	92
土地再評価差額金	2,872	2,872
退職給付に係る調整累計額	△11	△10
その他の包括利益累計額合計	14,096	16,757
非支配株主持分	4,241	4,505
純資産合計	56,051	59,105
負債純資産合計	155,906	160,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
営業収益	13,804	18,660
営業原価	11,804	16,614
営業総利益	2,000	2,046
販売費及び一般管理費	1,066	1,545
営業利益	933	500
営業外収益		
受取配当金	249	272
その他	19	9
営業外収益合計	269	281
営業外費用		
支払利息	119	161
その他	16	15
営業外費用合計	136	177
経常利益	1,067	604
特別利益		
固定資産売却益	1,234	1
投資有価証券売却益	-	451
特別利益合計	1,234	452
特別損失		
固定資産除却損	37	0
減損損失	44	-
特別損失合計	82	0
税金等調整前四半期純利益	2,219	1,055
法人税等	521	438
四半期純利益	1,697	617
非支配株主に帰属する四半期純利益	463	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,233	539

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,697	617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,091	2,810
繰延ヘッジ損益	△25	71
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	2,065	2,882
四半期包括利益	3,763	3,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,187	3,199
非支配株主に係る四半期包括利益	576	300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	653 百万円	748 百万円
のれんの償却費	18 "	101 "

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連			
売上高							
外部顧客への売上高	6,191	6,190	402	1,020	13,804	—	13,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	201	12	58	65	337	△337	—
計	6,392	6,203	460	1,086	14,142	△337	13,804
セグメント利益 又は損失(△)	614	133	△9	576	1,314	△380	933

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△320百万円、のれん償却額△18百万円及び未実現利益調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連」セグメントにおいて、減損損失を44百万円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連			
売上高							
外部顧客への売上高	6,299	10,793	441	1,125	18,660	—	18,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	200	18	72	21	313	△313	—
計	6,499	10,812	514	1,147	18,973	△313	18,660
セグメント利益 又は損失(△)	386	163	△3	474	1,021	△521	500

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△421百万円、のれん償却額△101百万円及び未実現利益調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2023年10月2日(みなし取得日2023年10月1日)に行われた株式会社ショクカイとの企業結合について、前連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「のれん」91億23百万円は40億67百万円減少し50億56百万円、「顧客関連資産」10億36百万円は62億86百万円増加し73億23百万円となっております。また、固定負債「その他」に含まれております「繰延税金負債」が21億74百万円増加し、「利益剰余金」は44百万円増加しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連	
国内物流	4,973	—	—	—	4,973
国際物流	846	—	—	—	846
玄米卸売販売	—	1,095	—	—	1,095
精米卸売販売	—	4,877	—	—	4,877
加工食品卸売販売	—	—	—	—	—
システム開発、保守等	—	—	396	—	396
棚卸支援機器レンタル	—	—	4	—	4
その他	45	212	1	23	284
顧客との契約から生じる収益	5,865	6,185	402	23	12,477
その他の収益	325	4	—	996	1,327
外部顧客への売上高	6,191	6,190	402	1,020	13,804

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連	
国内物流	4,982	—	—	—	4,982
国際物流	921	—	—	—	921
玄米卸売販売	—	969	—	—	969
精米卸売販売	—	4,944	—	—	4,944
加工食品卸売販売	—	4,553	—	—	4,553
システム開発、保守等	—	—	417	—	417
棚卸支援機器レンタル	—	—	7	—	7
その他	47	325	16	32	421
顧客との契約から生じる収益	5,951	10,793	441	32	17,218
その他の収益	348	—	—	1,093	1,441
外部顧客への売上高	6,299	10,793	441	1,125	18,660